

1 業務内容

(1) 処理鉄器点数

箱山第1号古墳出土圭頭大刀 1点 (参考資料のとおり)

(2) 保存処理

- ① 処理前調査・記録 (現状記録・X線などでの事前調査など)
- ② クリーニング (アルコールなどによる洗浄, グライNDERやエアブラシなどによる錆などの除去)
 - ※ 錆取りにより, 遺物が損傷または遺物に伴う付着物が剥がれるような場合は無理に行わない。
- ③ 脱塩処理 (塩化物イオンなどの除去)
- ④ 樹脂含浸 (合成樹脂による補強)
 - ※ ②～④の工程については, 複数回実施する。
- ⑤ コーティング (合成樹脂による塗布・防錆処理)
 - ※ ⑥の接合・復元後にも実施する。
- ⑥ 接合・復元・整形 (接着剤などによる接合, パテによる復元など)
- ⑦ 処理後調査・記録 (処理内容の記録など)
 - ※ 納品までの期間の保管管理を含む。

(3) 遺物の記述, 実測図等の作成, 写真撮影 (参考資料のとおり)

- ① 記述は見本を参考とし, 文章データはMicrosoft Wordで作成する。
- ② 実測図は原寸 (1 / 1) の手描きとし, 展開及び断面などは見本のとおりとする。
なお, 特記仕様書の期日前に点検を受け, 指示等があれば修正すること。
- ③ 計測は可能な限り詳細に行い, 表データはMicrosoft Excelで作成する。
- ④ 写真は見本を参考に, 全体及び部分を拡大して撮影する。

(4) 報告書作成

- ① 報告書には, 本業務の目的・業務内容・作業手順・使用器材・結果を記載する。
- ② 本業務の報告は, 発掘調査報告書中に掲載するため, 次の報告書体裁に沿って作成する。特に, 図表・写真の添付には, 版面の大きさに留意する。なお, この報告書の体裁が難しい場合は, 別途協議すること。

報告書体裁

区 分	内 容	
版組・組型	A 4 版・横組	
版面の大きさ	横 16.0 cm, 縦 23.5 cm (うち 0.5 cmはキャプション分)	
本文	ポイント	明朝体 10.5 ポイント
	字数	43 字
	行数	35 行
タイトル	ポイント	明朝体 14～16 ポイント
小見出し	ポイント	ゴシック体 10.5 ポイント
註	ポイント	明朝体 9 ポイント

※ データは, Microsoft 社製「Word」「Excel」で編集が可能であることとし, 独自に作成した外字は使用しないこととする。

2 成果品

	名 称 等	数 量
1	報告書（製本及びデジタルデータファイル）	一式
2	業務実施状況写真（カラーデジタル画像） ※ 業務の各段階の作業状況等を詳細に撮影したものとする。	一式
3	遺物の記述（文章はMicrosoft Word, 表はMicrosoft Excel）	一式
4	遺物実測図（手描きの原図, 原寸）	一式
5	遺物写真（カラーデジタル画像）	一式
6	本業務の実施により収集・作成した資料	一式
7	その他, 甲の指示したもの	一式

※ 報告書等のデジタルデータ及び写真のデジタル画像については, U S Bメモリ等へ書き込んだものとする。